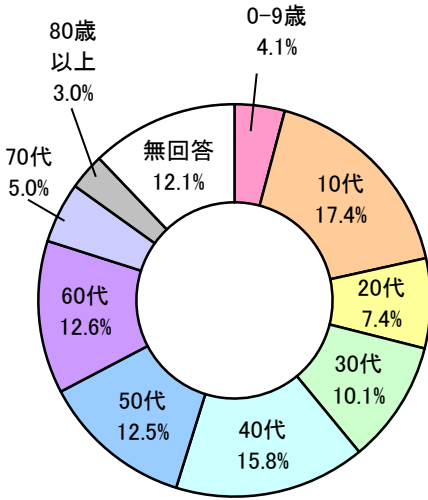


「日本国宝展」アンケート集計結果

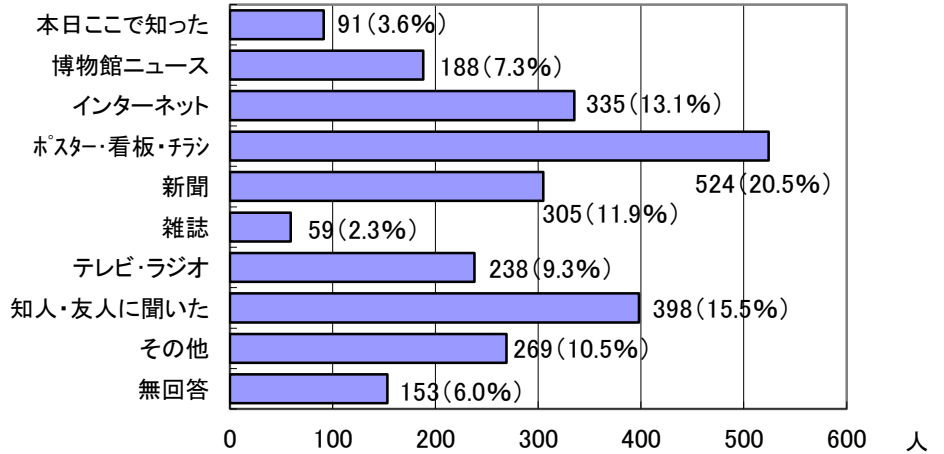
開催期間：平成26年10月15日（水）～ 12月7日（日）（47日間）

回答者数：2,080人（総入館者数：386,708人 アンケート回収率：0.54%）

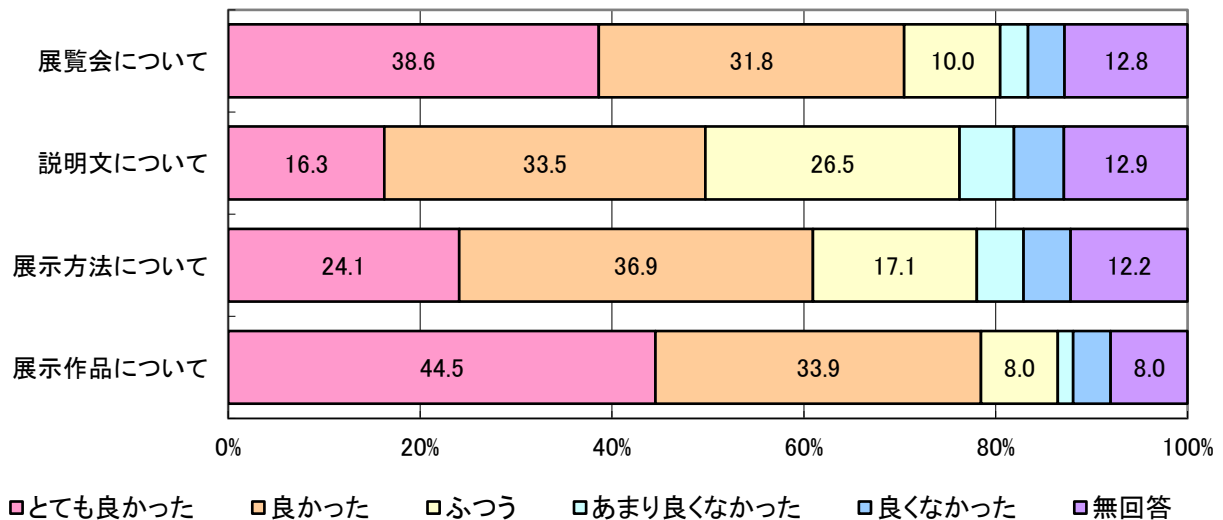
①アンケート回答年齢層



②認知経路(複数回答)



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・貴重な国宝が勢揃いで、見応えがあった。
- ・「金印」「土偶」「元興寺極楽坊五重小塔」「玉虫厨子」がよかった。
- ・信仰に根ざした日本文化に触れて、大変勉強になった。
- ・展示の仕方が良かった。工夫されている。
- ・説明文が理解の助けになった。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展覧会	2.9	3.8
説明文	5.7	5.2
展示方法	4.9	4.9
展示作品	1.6	3.9

(%)

日本には、美術的、歴史的に貴重な意義を有する文化財が数多くあり、中でも世界文化の見地から、高い価値をもつものを、類い稀な国の宝として、「国宝」に指定しています。本展覧会は、これら国宝の中で、人々の篤い信仰心が結実した文化的遺産を集め、日本文化形成の精神を見つめ直すことを試みた壮大な展覧会です。今回は、正倉院宝物から11件が特別出品されるなど、平成時代に入り3回目の「日本国宝展」の開催となりました。

本展覧会は、天皇陛下の傘寿を記念する年にあたり、国宝約120件が集結し、38万人を超える方々にご来館いただきました。アンケートの結果、展覧会に対して約70%の方々から「とても良かった」「良かった」との好意的な意見をいただくことが出来ました。一方で、「照明が暗い」「会場が混雑していて作品が見え難い」などのご意見も寄せられました。

今後も、来館者からお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。